

2011年4月ライオンズクラブ国際財団ニュースレター



Lions Clubs International
FOUNDATION

ライオン各位

今年に入り、私は多くの素晴らしいパートナーシップが築かれている現場を目にする機会を得ています。大地震後のニュージーランドを訪問した際は、ライオンズが人々と協力して迅速に救援活動を行っている姿を拝見しました。

エチオピアやマダガスカルを訪問した際には、4,100万人の子供たちに予防接種を行うために、ゲイツ財団や「はしかイニシアチブ」のパートナーとライオンズがどのように協力しているかを視察しました。「私の子供を救ってくださってありがとうございます」という母親の言葉は、私が人生で経験した感激の一つとなっています。私たちは、このような時に「だからこそ私はライオンなのだ」と自らに言い聞かせるのです。ビル・ゲイツ氏の講演も行われるライオンズクラブ国際大会2日目の総会で、是非このパートナーシップの成果をご自身の目でご覧ください。



青少年に健全で明るい未来を提供することは、ライオンズと財団の優先事項です。私たちはこのようなプログラムを成功させるために、強力なパートナーシップを構築するよう取り組んでいます。しかし、私たちだけではこれを成し得ません。理想を共有する

選ばれたパートナーとの協力によって、私たちは世界中の人々の生活を向上させ、明るい未来への希望をもたらすことができます。ライオンズクエスト・プログラムもパートナーの支援を受けています。ノボ財団からは、

2013年までに全米の学校にライオンズクエストを拡大するために10万ドルを提供していただいています。この素晴らしいプログラムを世界に拡大することによって、より多くの学生が貴重なライフスキルを習得することができるでしょう。

昨年、私たちはボシュロム社と協力し、小児失明と闘う小児白内障イニシアチブを実施しました。私は、このパートナーシップが新たなプログラムの支援に初めてつながったことを喜んでご報告いたします。ボシュロム社は、日本での救援活動の支援として10万ドルを提供され、また、従業員が寄付した金額と同額を会社が負担するという寄付方法で従業員の寄付を奨励しておられます。素晴らしい取り組みです。これらは、パートナーシップや協力プログラムのごく数例に過ぎません。私たちは今後も貴重なパートナーを探し続けると同時に、皆さまのご支援も必要としています。ライオンズの皆さまの積極的なプログラムへの参加と個人的な貢献があってこそ、私たちは素晴らしいパートナーを得ることができます。財団への支援を継続して下さるよう皆さまにお願いいたします。また、皆さまが必要とされる際には、私や財団のサービスチームが皆さまを支援いたします。

草々

エバハルト J. ヴィルフス

ライオンズクラブ国際財団理事長

